

**秩父宮賜杯第57回全日本大学駅伝対校選手権大会
関東学生陸上競技連盟推薦校選考会
2025年5月24日（土）18：00～
レモンガススタジアム平塚**

明治大学からは、以下12名の選手をエントリーしております。

8名が4組に分かれて（2人ずつ）10000Mを走り、その合計タイム上位7校が11月の伊勢で行われる秩父宮賜杯第57回全日本大学駅伝対校選手権大会に出場出来ます。

ご声援よろしくお願い申し上げます。





大志田駅伝監督

『全日本大学駅伝に向けて、新チームがスタートして、約2ヶ月。これまでの当たり前を見直し、「強い明治復活」の為に必要な行動や意識の変革を行ってきました。今の力を100%出し切るレースで予選突破を目指します。ご声援宜しくお願い致します。』

室田主将

『昨年、全日本大学駅伝に出場できなかった悔しさをバネに、チーム全員で予選会突破を目指し、全力で取り組みます。主将としては、チームに良い流れをもたらす走りを目指し、予選会突破に貢献します。』

4年 尾ノ上一



- 出身高校：鹿児島商業
- 【自己ベスト】
- 5000m 14'29"45
- 10000m 30'07"56
- ハーフ 1° 07'07

今シーズンは練習を確実にこなし成長著しい。
人格者であり寮長も務め、スタッフ、選手からの
信頼が厚く、競技面、生活面でも頼れる4年生。



4年 吉川響

- ・ 出身高校：世羅

- ・ 【自己ベスト】

- ・ 5000m 13'58"40

- ・ 10000m 28'59"97

- ・ ハーフ 1° 02'31

箱根の山登りでは苦戦するも、多くの大会で明治大学の主力として上位でゴールし明治のピンチを救ってくれている明治のエース。飛躍のレースに。



4年 堀颯介



- 出身高校：仙台育英
- 【自己ベスト】
- 5000m 13'58"00
- 10000m 28'40"90
- ハーフ 1° 03'54

常に安定感のある走りで明治を牽引してくれている。潜在能力は高く、まだまだその本領は発揮していない。副将としてチームをまとめながら明治のエースに成長中。



4年 室田安寿



- 出身高校：宮崎日大
- 【自己ベスト】
- 5000m 13'57"74
- 10000m 29'13"81
- ハーフ 1° 04'09

長距離ブロック主将として駅伝監督交代という困難な時期をしっかりとまとめてくれた人格者。人間として競技者として大きく成長している。最終学年で競技者として大きな花を咲かせてほしい。



4年 森下翔太



- 出身高校：世羅
- 【自己ベスト】
- 5000m 13'49"20
- 10000m 28'24"84
- ハーフ 1° 03'00

言わずと知れた明治の大エース。怪我が多く本来の力は出せていないが、春先からしっかりとトレーニングをこなし、見据えるは日本のエースへ。そのポテンシャルの高さを遺憾なく発揮してほしい。



4年 山本樹



- 出身高校：専大松戸
- 【自己ベスト】
- 5000m 14'09"66
- 10000m 29'29"96
- ハーフ 1° 03'30

走りのダイナミックさと美しさは見るものを魅了する。昨年は1年間を通して確実にトレーニングをこなし大きく成長した。最終学年の今年は、更なる飛躍を目指し学生トップレベルへ駆けあがる。



3年 石堂壮真



- 出身高校：世羅
- 【自己ベスト】
- 5000m 14'09"35
- 10000m 29'16"18
- ハーフ 1° 08'28"

ついに覚醒した大器。急成長中で、今最も勢いのある選手。明治大学の秘密兵器から明治大学のエースへの進化を果たす。



2年 井上史琉



- 出身高校：世羅高校
- 【自己ベスト】
- 5000m 14'09"31
- 10000m 29'04"82
- ハーフ 1° 04'51"

2年生ながら明治大学の中心選手として成長中。
トレーニング、レースと安定感抜群。
明治のエースとして大きく飛躍することが確実視される。その実力の片鱗を見せ始めているが、ブレークスルーする日も使い。



2年 成合 洸琉



- 出身高校：宮崎日大
- 【自己ベスト】
- 5000m 13'58"90
- 10000m 29'13"81
- ハーフ 1° 03'52"

どんな状況でも諦めずに必死に食らいつく姿で、周りに感動を与える走りをする。明治をしっかりと引っ張る選手。持ちタイム以上の力を常に発揮しているが、今年はタイムも必ずついてくる。



1年 岩佐太陽



- 出身高校：鳥栖工業
- 【自己ベスト】
- 5000m 14'05"27
- 10000m —
- ハーフ —

昨年の高校駅伝3区10位と活躍し明治大学へ入学。
1年生ながら予選会メンバー入りを果たす。
ロードで抜群の強さを発揮するが、トラックでも
順調に成長中。今後の明治のエースに。



1年 桶田悠生



- 出身高校：八千代松陰
- 【自己ベスト】
- 5000m 14'10"34
- 10000m 29'27"84
- ハーフ —

1年生ながら、常に上級生に引けを取らないトレーニング内容。3月には中大記録会で10000Mを29分台で走り、今、一番伸び率が大きく、伸びしろはまだまだある。既に明治の中心選手となっている。



1年 河田珠夏



- 出身高校：八千代松陰
- 【自己ベスト】
- 5000m 14'19"95
- 10000m 30'46"17
- ハーフ -

1年生ながら、予選会メンバー入り。スピード抜群な持ち味で、長い距離でも発揮できる実力が備わってきた。日々のトレーニング量は目を見張るものがあり、大きく飛躍できる1年になりそう。

